

第6回ESDパワーアップ交流会 参加報告書

和歌山県立あやの台小学校
教諭 中谷栄作

- 1 日時 平成30年1月27日(土)
8:50~11:30 八名川まつり
13:30~14:50 実践交流会
15:00~16:30 講演
金沢学院大学教授 多田 孝志 氏
八名川小学校校長 手島 利夫 氏
- 2 場所 江東区立八名川小学校 東京都江東区新大橋 3-1-15

3 内容

(1) 八名川まつり

各学年でテーマを決め、その中で自分の課題について調べ学習を行い、発表していた。どの子どもたちも自分たちで調べたことを相手に伝えるために工夫を凝らしており、クイズや実物の提示、体験活動などを取り入れたものが多くみられた。

評価すべきは縦割り交流が自然に成立しており、下級生から上級生への敬意や憧れ、上級生から下級生への思いやりが見られた点。課題と感じたのは実践の少なさである。学びはあるが、子どもたちがそれぞれに追究実践している経験はなく、体験ブースを開いている児童についても「これが初めて」というものが多かった。つまり、自分の得た知識や技術を実際に誰かに役立てて反省をするといい練習を上げていないのである。これは児童への聞き取りを複数行った結果分かってきたことで、知識獲得による「自分たちはとても大切なことを学んだ」という実感は強くあるので、今後の子どもたちの行動化に期待したい。



(2) 実践交流会

A分科会に参加し、自身のエコマートの取組について発表をさせていただいた。他校の先生方よりも、企業の方々が興味をもってくださった。経済の仕組みを学ぶことがキャリア教育に効果が大きいだらう、という提案に賛同してくださったようである。

他校の実践は2つ聞くことができた。どちらの実践も学校内で、縦のつながりが強くあった。どの学年でも同じように大切にしている学びがあり、全体で研究を進めているところに感心した。

(3) 講演会

多田先生と手島先生の対談形式での講演会であった。職場の先生方とやり取りをしながら進めてくれたのだが、先生方の「自分たちはESDしています」という意識・満足感の高さに驚いた。職場としての教育体制の持続性が確立させる要因が何か、先生方の発言内容を振り返って研究し、自分の学校でも生かしていきたい。